

検討対象と考えられるテーマ等の整理

1. ミッション(資料2)

(1) 基礎統計へのフィードバック

SNA関連統計体系整備に関する専門会議との関係
経済センサス(仮称)創設との関係

(2) 国際的な概念の議論に対する我が国としての対応

基礎統計へのフィードバックから派生する議論

基礎統計の整備による精度向上
基礎統計における断層処理の方法、欠落月の補外方法
推計方法の改善による精度向上
現在のSNAの推計の仕組みに関する見直し

2. SNAの推計の仕組みからみた検討対象

基準改定・確々報・確報のイメージ(資料3)

中間投入比率は産業連関表待ち

工業統計の品目別、産業別出荷額は確々報に使用

工業統計の産業別出荷額は確報に使用

確報・速報のイメージ

前年出荷額を補助系列で伸ばしたものの

基準改定 年次推計 四半期推計の流れと改定される計数

現行の推計方針ではなぜ中間年の新規推計を反映できないのか?(イメージ)

SNA推計フロー(資料4)

コモディティ・フロー法 基礎統計から「産出額」「家計最終消費支出」等を算出(コモ流通経路)

付加価値法 「産出額」から産業別GDPを算出 中間投入比率の推計(参考資料1)

QE推計方法のイメージ(資料5)

QE推計に利用する主な基礎統計(参考資料2)

補外推計の事例 3ヶ月目の欠損値(生産動態統計)

断層修正の事例 法人季報(資料6)

横置き事例 民間在庫品増加(資料7)

ベンチマーク手法・季節調整法をかける集計レベル

基礎統計の新規採用による改善事例 家計消費状況調査(資料8)

推計方法の改善による改善事例 運賃・マージンの推計方法(資料9)

3. 我が国のSNA体系の体系的名称(資料10)

4. 93SNA revision 1に向けた国際的な検討状況(資料11)